

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 66 (年4回発行)

■発行日 平成25年1月1日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町字大町178 (旧公民館内)
TEL/FAX (62) 3988

平成二十四年度 まちづくり懇談会

十一月十四日、三春交流館まほらのホワイエで、約五〇名の参加者を得て、平成二十四年度まちづくり懇談会が開催されました。

■幕田協会長あいさつ
三春まちづくり協会は、各部会とも活発に活動しているが、今後も一歩ずつ良いまちづくりを目指して進んでいきたい。

■鈴木町長あいさつ
出前懇談会の毎月開催など、三春まちづくり協会の日頃の活動に敬意を表したい。今、町の事業はほぼ順調にすすんでいるが、最大

新年のあいさつ



三春まちづくり協会長 幕田勝寿
新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

大震災発生後、一年十ヶ月になろうとしております。町では、耐震課題のある公共施設や今後遊休化があることから、「三春町公共施設整備方針検討委員会」を設置し、三春まちづくり協会長も委員の一人に委嘱され、委員の皆様と意見交換をしているところであります。
役場庁舎の整備、旧公民館、図書館等の今後に向かっての検討推進が必要であると思われまます。
新三春中学校も四月開校をめざし着々と進行しているようであります。
廃校となる中学校の跡地利用等についても町民皆様の声も聞かせてほしいと思ひます。
又、桜川改修工事、国道二八八号バイパスも、まもなく開通し街の中の人、そして車の流れ等変わっていくものと思われまます。
三春まちづくり協会も皆様のご意見をいただきながら頑張っております。
年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



の課題は除染作業だと考えている。仮置場の選定・造成を進め、町民の安全、安心を取り戻したい。

■儀同副議長あいさつ
今日は町議会議員も多数参加しているので、この懇談会で町民の皆さんの多くの声を聞かせていただきたい。議会としても除染、役場庁舎の建設などの課題について皆さんと一緒に取り組んでいきたい。



町役場各課からの説明事項等についての要旨は次の通りです。

- 町からの説明事項
- ①三春町公共施設整備方針検討委員会の中間報告及び三春町役場庁舎整備方針の検討状況について
(総務課・財務課)
・中間報告の概要、それを踏まえた町の対処方針、議会と町執行部との現時点での主な論点などについての説明。
- ②東日本大震災一部損壊住宅修繕工事費の助成について
(総務課)

③平成二十四年度三春町の財政状況について
(財務課)

・平成二十四年度末の見込み。借入金残高86億2256万円、基金総額27億663万円。

④町営バスの運行計画について
(住民課)

・スクールバス間合い運行、バス路線の見直し、見直し路線の特徴について説明。

⑤除染の実施状況について
(住民課)

・仮置場の選定と整備状況、住宅地と農地の除染実施状況について説明。

⑥特定検診の受診について
(保健福祉課)

・三春町の平成二十三年度の受診率は32% (国の達成目標は65%)。

⑦1級河川桜川河川改修事業等について
(建設課)

・事業概要、進捗状況、今後の工事計画等の説明。

⑧国道二八八号線三春西バイパス改築事業について
(建設課)

・「まほら」ニューイヤーコンサート2013NHK交響楽団メンバーによる室内楽 (生涯学習課)

・平成二十四年度秋季企画展 田村月斎と子孫たち (生涯学習課)

・平成二十四年度秋学期「戦国武将」 (生涯学習課)

■主な質問と回答
「町営バスの料金は現在と変わらないのか」
・現在の料金 (一区間2

⑨米の全量全袋検査について
(産業課)

・二十四年度産で、販売用として出荷するもののほか、自家保有米、縁故米、飼料用米も検査対象。

⑩「第九回三春秋まつり」事業結果報告 (産業課)

⑪新三春中学校建設事業及び保育所の公設民営化について
(教育課)

・建設工事状況、新三春中学校開校準備委員会開催状況についての説明。

⑫三春交流館運営協会自主事業予定について
(生涯学習課)

⑬第二十四回ふくしま駅伝大会について
(生涯学習課)

■その他
・三春町住宅団地分譲地申込受付 (企業局)

・「まほら」ニューイヤーコンサート2013NHK交響楽団メンバーによる室内楽 (生涯学習課)

・平成二十四年度秋季企画展 田村月斎と子孫たち (生涯学習課)

・平成二十四年度秋学期「戦国武将」 (生涯学習課)

「住宅の除染の範囲は」
・母屋から20メートルまでを考えている。線量が高ければ表土の除去もする。
「町営グラウンド付近に除染した土などが積んであるが、町では管理をきちんとしているのか」
・町民が不安を抱かないよう厳正に管理していく。「三春の米から基準値を超える線量が検出された件」
・沢石地区で昨年作付けをしなかった田に、田起し等をしていないでそのまま作付けたという特殊な状況で検出されたもの。
※当日の資料は三春まちづくり協会事務局にあります。



00円)と同じ予定。「町営バスは夕方の運行はあるのか」
・朝と逆方向で運行する。「バスの路線名が、南回り、北回りなど分かりにくい」
・バスの行き先表示、路線名などを工夫する。

協会活動だより

全体事業

「登米市」を視察研修！

本年度の視察研修は、宮城県登米市に行つて来ました。今回の研修の目的は、明治時代に一時期県庁がおかれていたということもあり、木造の明治の建物が沢山あり、その建物がどのよう



に保存活用されているかを見学することでした。また、3・11の地震で被害があり修復中の建物もあるということでしたが、お互い様で観光客として訪問し元気づけるという意味合いもありました。

県庁記念館、明治二十二年に建てられ昭和四十三年まで使われていた木造洋風建築の警察資料館を見学しました。

短い時間でしたが古い建物を資料館として活用し、また、地域の伝統芸能の継承と新能を催す能舞台の建設と、文化をまちづくりにかかしている様子を見学でき、たくさん得るところがある研修になりました。

(部会長 佐久間保一)

《特集》『3.11～あれから間もなく2年！』
— 『東日本大震災 + 東電原発事故』③ —

現在、三春町では特別措置法に基づく全町除染に向け、具体的な作業実施計画が進められています。三春地区については、仮置き場選定の最終調整段階にあり、除染作業に着手するまでには至っていません。環境部会では、三春地区内の放射線量の現状調査を行い、日常生活への影響判断や、除染作業推進の参考データ等に活用することとしました。

三春地区 通学路放射線量の調査を実施！



調査結果の概要は、学区内通学路全体としては、昨年の除染後の線量値より2割から3割程度減少している。最小値0.12μSv/h、最大値0.51μSv/hで、年間被ばく基準線量=1mSv以下を目安とした一時間当たり目標値0.23μSv/hを超える測定箇所は42/70(60%)の状況にあります。

環境部会では、今回の調査データを整理・分析し、三春町役場住民課生活環境グループや教育課学校教育グループ等へ送付し、活用を図ります。

なお、調査箇所ごとのデータ等については、地区隣組を通して回覧致しますのでご参照ください。

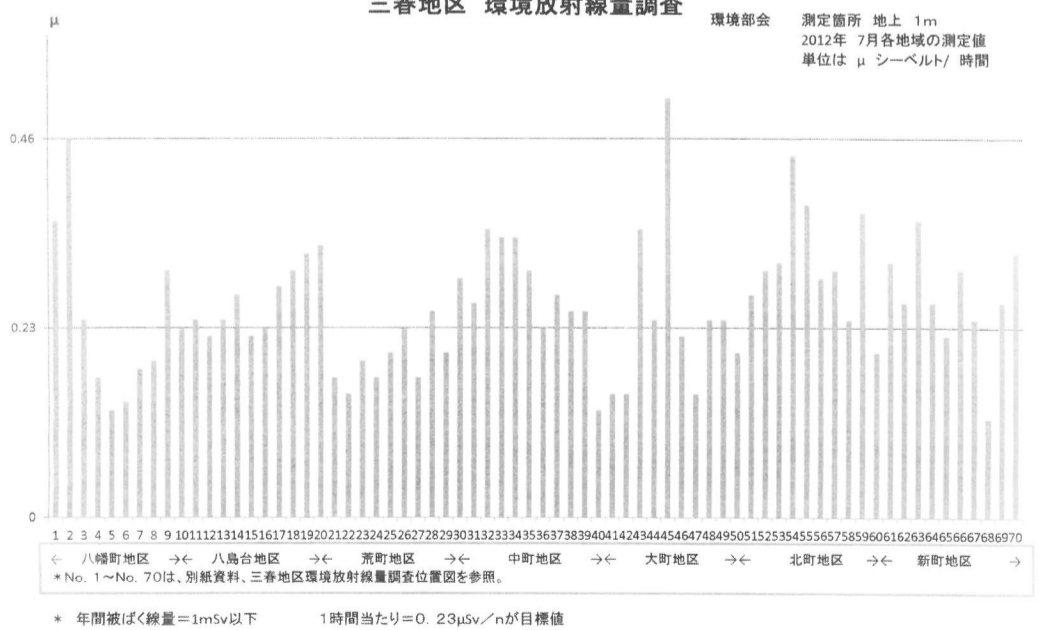
三春まちづくり協会 環境部会

- 福祉部会
・ 出前懇談会開催 「三春町の認知症の現状と対策」 (次号で報告予定)
○生涯学習部会
・ 劇団ひまわり「ホントのきもち」観劇
「健康未来の食育講座」研修
○地域部会
・ 散策路の踏査(月斎館、二の丸、不動山、桜谷、東館)
・ 案内標柱建替え(東館散策路)

調査方法や対象地域を部会で検討、協議した結果、昨年三春小・中学PTAと各自委員会が共同で実施した通学路除染結果を参照し、一年後の現況を検証することにしました。

放射線量調査は、学校を経由して提供して頂いたデータを基に、各方部10箇所とし合計70箇所を環境部会員が手分し、約一ヶ月をかけて実施しました。

三春地区 環境放射線量調査



環境部会 測定箇所 地上 1m
2012年 7月各地域の測定値
単位は μシーベルト/時間

* 年間被ばく線量=1mSv以下 1時間当たり=0.23μSv/hが目標準

編集後記

「孫達と楽しく歩きました。我が街のどこで歩いたのか、三春町の歴史を確認しました。とても有意義な学習でした。孫達は『もつと見つけた！』と嬉々として拓本を作っていました。これは、今回の石柱拓本ラリーに参加した伊藤美代子さんから寄せられた感想である。街並部会で企画・実施した今年度の石柱拓本ラリーは、これまで期日を決めて実施していた内容から、参加者の都合に合わせて、場所も、日時も自由に決めて実施できる方法に変更した結果は、大変好評で、子供さんからも高齢の方々まで幅広い参加となった。まちづくり協会は、地域の伝統や文化、福祉や環境、そして教育や行政等暮らしの全般に亘った諸課題の解決や推進のため、専門部会が中心になつて取り組んでいる。しかし、より良い成果を得るためには、行政や議会との協働はもちろんだが、地域の皆さんの理解と協力、そして何よりも共に参加し、行動していただくことが不可欠となる。今回の企画変更で、担当部会としても、参加者が少ない、雨天による変更・中止等の不安が解消できた。チョとした創意工夫で、より良い成果が得られた。こちらの事情だけでなく、状況や事情に合わせ、相手のことも解決の早道と納得した。

コミュニティだより
「三春わが街」第六十六号
発行日 平成二十五年一月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広報 報部会
三春町字大町一七八
(六二) 三九八八